

# 2020～2021 年度クラブ活動目標

## 1、クラブ活動目標

35年目の再構築 ロータリーの源流へ

## 2、基本方針

今年度はシカゴの町でポール・ハリスが4人の友と会合を持ち、やがてロータリーという組織が誕生し、その活動が日本に伝わりロータリークラブが誕生してから100年の節目を迎える年であり、当クラブにとっては創立35周年を迎える記念する年です。本来ならそれらに向けて各種記念事業などの準備を進める時期ですが、新型コロナウイルスの世界的蔓延に続く国内での感染急増の影響で、各種会議や集会、例会さえも中止や延期となり事態の先行きが見えてこない現状です。しかし今私たちにできることは必ずやこのウイルスに打ち勝てると信じ、日常が戻った時に備え準備を整えておくことこそが使命だと考え基本方針を策定していきたいと思えます。

今年度ホルガー・クナークRI会長の掲げるテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。ロータリー活動は入会することで無限の機会を手にするだけでなく、他の人々へも様々な機会を創造することができる。そこから派生する活動の評価により会員増強を図り更なる機会の提供を行う。それこそが有機的かつ継続可能な形でロータリーを成長させることが出来るとの考えのもと年次目標を策定しました。それを受け石黒秀司今年度ガバナーは「サービスと良きロータリーの為に」と提唱し「ONE ISSUEは、会員増強と会員基盤・クラブ基盤の向上」という基本目的を設定され、8つの重点活動目標が示されました。ロータリーは岐路に立っています。今こそ原点に立ち返り会員の質とパワーの向上を目指し、変化・改革を挑み行動すると決意を示されております。

白河西ロータリーは今年35周年を迎える中でRI・地区の活動方針を踏まえつつそれを達成する為に、今年度活動目標を「35年目の再構築 ロータリーの源流へ」と決めました。RI・地区・クラブ共に会員増強は重点課題との認識を同じくしておりますが、増・強ともにロータリー活動やクラブに魅力が有ることが前提条件だと思います。現状で増強に苦しむのはその魅力が認知してもらえないことが最大の問題だと考えております。創立35年目の節目に、個々のメンバーと共に現状に即したロータリーの存在意義とあるべく姿を考察し、新たな指針を模索する事を通じメンバーの意識を向上しクラブの結束を高め、次なる5年に向けて新時代のクラブを再構築していくスタートの年としていきたいと思っております。周年の年は各種記念事業や式典・懇親会など何かと忙しく活動が続きますが、その分メンバー同士が密に顔を合わせ、議論をし、相互理解を深め新たな価値を見出す為の最適な時間を過ごす事が出来ます。私たちが進む方角はどこなのかクラブメンバー全員で考えていきましょう。

新しい5年後に向かい会員の皆様と想いを一つにして進んで行きたいと思えます。皆様のご理解と御協力を心よりお願い申し上げます。

### 3、重点活動目標

- 1)、創立35周年を通してメンバーの結束を強めよう。
- 2)、例会最重点主義で会員資質を高めよう。
- 3)、クラブの存在意義を再構築しよう
- 4)、会員増強目標を達成しよう。
- 5)、ロータリー賞へ挑戦しよう。

## 2020～2021 年度クラブ活動計画

### 会長エレクト

鈴木 孝幸

今年度、会長エレクトを仰せつかりました鈴木孝幸です。またこのポジションは次年度会長でもありますので非常に緊張しております。

しかしながら現在、世界中がコロナウィルス渦の真ただ中であり、我が西ロータリークラブも活動自粛が続き、会員皆先が見えない不安を抱きながらのロータリー活動を続けております。今年度は吉野会長の基35周年を迎え記念事業が目白押しの年度でありますので、是非とも早期にコロナウィルスに打ち勝ち、35周年事業を成功させたいと願っております。

このような未曾有な状況な中ですから吉野会長の掲げる「35年目の再構築 ロータリーの源流へ」を“どんな災害にも負けないロータリークラブへの再構築”とも理解しつつ、各委員会がクラブ全体を盛り上げていけるように陰ながら頑張りますので皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

### 副会長

高島 裕

今年度の副会長を仰せつかり、改めて責任を感じると共にロータリーと自身の在り方を見つめ直す機会となりました。入会17年目になりますが、まだまだわからない事が多く今日までの自分の不甲斐無さを後悔するばかりです。自分自身がクラブや地域に対して何が出来るのかを考え、会長の掲げる「35年目の再構築 ロータリーの源流へ」に向けてクラブメンバーの皆様と一緒に奉仕の気持ちを持って取り組んで参りたいと思います。

節目である今年度を自身の新たなスタートと捉え、会長を補佐しつつより良いクラブ活動が送れるよう、また学びの年度として積極的に参加して皆様と充実したクラブ活動を送って参りたいと思います。

どうぞ一年間よろしくお願い致します。

## 会場監督 (SAA)

SAA 運天 直人 副 SAA 前原 俊治  
副 SAA 佐川 京子 副 SAA 鶴丸 彰紀

本年度は白河西ロータリークラブ創立 35 周年であります。

吉野会長の「35 年目の再構築 ロータリーの源流へ」を基に、重点項目であるメンバーの結束強化、例会最重点主義の会員の資質向上に向け、充実しながらも円滑な例会運営を心がけてまいります。また今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、例年とは違う会場監督が求められると思いますが、SAA として自らも成長できるよう頑張っております。

- ・会長・幹事・各委員会と連携し円滑な例会運営を行う。
- ・来賓やクラブ訪問者は本より、各会員にも配慮した会場設営を行う。

## ビジョン推進・研修委員会

委員長 宮本 多可夫 副委員長 高島 裕  
委員 片倉 義文 永野 文雄

当委員会は、昨年度は「中長期戦略策定委員会」として初めて「クラブ定款・規則の見直し及び改正とクラブの中長期的な計画を策定する」ということを目的に創設された委員会でありましたが、昨年度のクラブ定款・細則の改正により、組織再編されるに伴い、名称を明るくするために「ビジョン推進・研修委員会」とされ、再出発することとなった委員会です。

昨年度は「クラブ定款・細則の見直しをしたうえ、改正」までこぎつけ、新たな組織編成となり、我がクラブ自体がリニューアルすることになりました。中長期ビジョンについては、「ホームミーティングでのテーマ」として、我がクラブの会員数、女性会員数、国際奉仕活動へのあるべき具体的見通し等について、全会員に議論してもらいました。本来は、これらのミーティングの報告を受けて、何らかのビジョンを示すことができればよかったのですが、コロナウイルスによる休会が続き、十分なビジョン共有までに至りませんでした。幸い、執行部の方で、ホームミーティングでの報告をクラブ通信でまとめてくれました。これを参考に、現在、当クラブ会員が考えている最大公約数的な考えが少し示されていると思います。

今年度の当委員会の目標としては、35 周年を見据えながら、さらに 40 周年、50 周年と続く我がクラブの将来像について、又、皆さんの知恵を拝借しながら、考えていきたいと思っております。

今年度もホームミーティング等で、有意義な議論を進めていければと考えています。

## プログラム委員会

委員長 齋藤 孝弘 副委員長 熊澤 直紀  
委員 金田 昇 車田 裕介

クラブ目標である「35年目の再構築 ロータリーの源流へ」を基にプログラムを構成します。

- ・国際ロータリーの月間テーマに沿った例会を設営していきます。
- ・各委員会と連絡を取り、例会プログラムを構成していきます。
- ・近隣のトップリーダーを講師に招いたり、会社訪問（移動例会）も視野に入れ設営します。会員卓話（特に新入会員）を設営します。
- ・35周年記念事業の準備・式典等に沿った構成をします。

会員が例会に興味を持てるプログラムを心掛けます。各委員会のご協力をお願い致します。

## 出席委員会

委員長 大住 由香里 副委員長 松永 紀男  
委員 石部 辰雄 渡部 勝也

出席委員会として出席向上はもとより、プログラム委員会及び親睦委員会との連携を図り一つの委員会単独ではなく一体感を持って出席率を上げていく事が重要でありますので、そのような活動ができるように努めて参ります。

- ・出席率向上対策
- ・無断欠席をなくす ⇒ 出欠ボード・メール・FAXの積極活用
- ・メーキャップの奨励 ⇒ メーキャップ月間等を作る
- ・出席率100%例会の開催 ⇒ プログラム・親睦委員会と連携を図る
- ・出席率100%会員の表彰
- ・スリーピング会員の例会出席を図る ⇒ 訪問・TEL等による動機付け
- ・プログラム・親睦委員会との連携
- ・出席・プログラム・親睦との会議の実施 ⇒ 定期的合同対策会議をする

## 親睦活動委員会

委員長 桜岡 敏之 副委員長 根本 あゆみ  
委員 藤田 和克 島田 修一 大竹 憂子 車田 裕介  
緑川 直人 鶴丸 彰紀 十文字 光伸

会員や会員家族、また地域の他団体とより一層の交流、親睦が深められるような設営を行います。そして、本年は35周年を迎えますので、当委員会としての役割と責任を果たしていきます。委員会メンバーが一丸となって進めて参ります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。1年間よろしくをお願いいたします。

### 活動内容

- ・誕生日、結婚記念日のお祝い企画
- ・ホームミーティングの設営
- ・納涼例会の企画運営
- ・JC YEG との交流親睦会の企画運営
- ・クリスマス例会の企画運営
- ・観桜会の企画運営
- ・会長幹事慰労会の企画運営
- ・35周年に関わる企画運営

## シスター委員会

委員長 兼子 聡 副委員長 居川 孝男  
委員 須藤 正樹 十文字 光伸

35周年と節目の年に白河西ロータリークラブの姉妹クラブである米沢中央ロータリークラブ・コザロータリークラブ・深谷ノースロータリークラブと積極的に交流を深め、互いのクラブ活動の活性化を図る。

### 事業内容

- ・3姉妹クラブへの35周年式典・事業にむけたPR活動
- ・3姉妹クラブへの例会メイクアップ表敬訪問
- ・3姉妹クラブ合同交流事業の実施
- ・3姉妹クラブ以外のクラブとの交流事業の実施

## 会員増強委員会

委員長 山田 颯一郎 副委員長 須藤 正樹  
委員 松永 紀男 根本 あゆみ

クラブの安定した運営及び活動のため会員数の維持、向上は必要不可欠なことです。他の委員会メンバーと共に西ロータリークラブの魅力を発信し、全会員の皆様の御助力もいただきながら、ロータリアンとして活躍できる人材の発掘に努めていきたいと思いをします。

## ロータリー情報委員会

委員長 山口 治 副委員長 鳴島 三夫  
委員 中目 公英

1905年アメリカでロータリークラブが誕生し、115年の長き歴史の中で、新型コロナウイルスにより、全世界で、通常例会が出来ない非常事態が起きてしまいました。

このような事態になってみて改めて、毎週例会でクラブメンバーと顔を合わせていた時が、当たり前ではなかった時間と感じています。そしてこんな時だからこそ、ロータリークラブの立ち位置・ロータリーだから出来る事、会員みんなの心の中に生まれたのではないのでしょうか。

ロータリー情報委員会では、そんな会員の話しに耳を傾け、ロータリークラブの存在意味を皆さんと共に考え、未来のロータリー、未来の白河西ロータリークラブ像を創造していきたいと思いをします。

## クラブ会報委員会

委員長 三瓶 徹 副委員長 渡部 勝也  
委員 遠藤 敦 前原 俊治

週報が遅れることのないように、委員会内で担当月を決めて写真撮影、校正を行い、会員に読みやすい週報を作成出来るよう活動していきたいと思いをします。会員の皆様1年間よろしくお願いをします。

## 雑誌広報渉外委員会

委員長 村上 堅二      副委員長 池田 浩章  
委員 横田 俊郎

『ロータリーの友』はロータリアンの必読の書です。

毎月、会員の方々に熟読して貰い、ロータリーを楽しんでもらう。

- 1) 『ロータリーの友』の見どころを毎月例会で紹介し、ロータリーを学び楽しんでもらう。
- 2) 『ロータリーの友』に我がクラブの事業を掲載してもらえよう、情報発信をしていく。
- 3) 地元の報道機関にも我がクラブの事業を掲載してもらえよう情報発信を進め、地域の奉仕活動を認知してもらおう。

## IT 委員会

委員長 鈴木 典雄      副委員長 横田 俊郎  
委員 矢田部 錦四郎      十文字 光伸

ホームページを通じて当クラブの概要を公開し、たくさんの人に知って頂くためにホームページの更新、管理を行って行きます。

## ロータリー財団委員会

委員長 諸橋 和典      副委員長 矢田部 錦四郎  
委員 佐藤 清作

「世界で良い事をするために、そしてポリオを根絶するために」さらに「新型コロナウイルスに負けないために」活動しているロータリー財団へ協力するために、財団の活動を会員に理解していただき、さらに財団への寄付を促し、ロータリー財団の資金を活用に各委員会に検討してもらおう。

- ① ロータリー財団の理解を深める担当例会の開催
- ② 財団への寄付者の募集

## 米山記念奨学会委員会

委員長 佐藤 幸彦 副委員長 安部 和夫  
委員 関谷 亮一 島田 修一

米山記念奨学会は、日本に留学している外国人留学生に対し全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給し援助する民間団体です。

石黒ガバナーの方針に沿って、米山記念奨生と接点を持って、いろいろ学んでいきたいと思ひます。又、数値目標の 普通寄付 ¥5,000 特別寄付 ¥10,000 の協力もお願いしていききたいと思ひます。さらに、今期受け入れる奨学生のフォローはもちろんのこと、今年度地区大会開催時に行われる予定の「米山ナイト」への参加もしていく予定です。

## スマイルボックス委員会

委員長 小林 義勝 副委員長 佐川 京子  
委員 湊 洋子 永野 文雄

スマイル及びニコニコボックスで集まったお金が社会奉仕活動費に充当されている事を認識して頂き、より気軽に、積極的にスマイルして頂けるよう会員皆様の意見や提案を取り入れていききたいと思ひます。

また、西クラブでは誕生日、結婚記念日の月にはクラブよりプレゼントあります。そのお礼として各 5,000 円スマイルすることが伝統である事を全会員に理解して頂きます。発表方法としては 4 人で担当月を決めて皆さんへ報告したいと思ひます。ご協力よろしくお願ひ致します。

## 社会奉仕委員会

委員長 藤田 龍文 副委員長 緑川 直人  
委員 仁平 喜代治 松永 紀男

社会奉仕委員会として、ロータリーの社会奉仕の原点をふまえ、この地域の人々の生活の質を高めることを目標とした活動を行っていききたいと思ひます。

また、今年度活動目標の「35年目の再構築 ロータリーの源流へ」を活動の根幹として社会奉仕活動を行っていききたいと思ひます。

## 職業奉仕委員会

委員長 阿部 克弘 副委員長 安部 和夫  
委員 鈴木 信教 上杉 謙太郎

ロータリーの「職業奉仕」という概念は「ロータリーの目的」を土台にしています。

職業上の高い倫理基準、役立つ仕事はすべて価値あるものという認識、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとするのを奨励し、育むことを求めています。

以上を踏まえ下記の事を実践したいと思います。

- ・事業や専門職務のリーダーである若手並びに入会の若いロータリアンメンバーの職場訪問
- ・1月の「職業奉仕月間」で地区委員長等に、ロータリーで行われているプロジェクトを紹介（卓話）して貰う。

●その他に必要と思われる事業ができた場合の開催

## 国際奉仕委員会

委員長 青木 大 副委員長 成井 正之  
委員 車田 裕介 富永 章

本年度の活動計画として、新型コロナの状況をみて RC 国際活動への参画および支援を行っていかうと思います。

また地域貢献はもちろんのこと、ロータリーインターナショナルへの貢献も積極的に行っていければと思っております。

## 青少年奉仕委員会

委員長 吉田 充 副委員長 島田 修一  
委員 大竹 憂子 渡部 則也

「白河西ロータリーの青少年奉仕委員会の任務」

クラブ細則第9条第4節

この委員会は、インターアクト、ローターアクト、ロータリー指導者養成プログラム（RYLA）、ロータリー青少年交換など RI の諸活動を通じ、青少年や若い世代の社会人が地域社会で指導的な役割を果たせるよう支援するものとする。またさらに、助けを求める青少年や若い社会人を支援することで、我がクラブの活動やロータリー精神に関心を抱かせるような方策を実施するものとする。

上記のことを踏まえ今年度青少年奉仕委員会では、若い人すべてを含む青少年の多様なニーズを認識し、よりよい未来を確実なものとするために生活力を高めることによって将来への準備をさせることを目的とした。青少年の健康、教育、自己開発を支援する事業を実施したいと思います。

事業内容

- ・CKB（チャレンジケンナンベースボール）中学校野球大会の支援（前期は8月24日）
- ・青少年の健康、教育、自己開発に関わる講演会
- ・助けを求める青少年を支援する事業

## ゴルフ愛好会

会長 運天 直人 副会長 車田 裕介  
委員 鶴丸 彰紀 横田 俊郎

ゴルフを通して会員同士の交流を深める。また、JC・YEG との交流コンペ、姉妹クラブとの交流コンペなどに対応したいと考えています。さらに、今後の会員拡大を見越して、クラブ外の愛好会メンバーを募りたいと思います。

- ・年間4回の愛好会コンペの開催（公式）
- ・新年初打コンペ開催（非公式）
- ・各種交流コンペの開催（他団体）
- ・35周年記念コンペの開催

## 野球愛好会

監督 小林 義勝      キャプテン 吉野 敬之      マネージャー 青木 大  
副マネージャー 鶴丸 彰紀      会計 熊澤 直紀

今年は新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延の影響で現時点での公式戦の開催有無について不明であります。以前のような活動ができる日まで我が愛好会も現在は活動を自粛しております。

## 歴史文化研究愛好会

会長 関谷 亮一      副会長 成井 正之  
委員 宮本 多可夫

歴史文化研究愛好会としては、令和4年に一万円札に登場する事になり、南湖神社設立に関わった事でも知られている渋沢栄一翁の生き方について会員の皆様と共に勉強をしたいと思っております。渋沢栄一翁生誕の地であります、深谷ノースロータリークラブの皆様にお願ひし、卓話をいただければと考えております。

## スキー愛好会

会長 佐藤 幸彦      副会長 金田 昇  
委員 青木 大      鈴木 孝幸

第12回目を迎える、恒例行事の蔵王スキー場での米沢中央ロータリークラブ・天童ロータリークラブ様との交流会に引き続き参加すると同時に、他ロータリーの会員等もお誘ひし、スノースポーツを通して会員の健康維持も考えてみたいと思っております。

夜の懇親会だけの参加者も大歓迎し、温泉につかって交流を楽しみたいと思っております。スキー経験者に多く参加をお願ひし、皆様のご協力を頂きながらがんばってまいりますので、よろしくお願ひ致します。

## 家族交流・情報部会

会長 兼子 聡      副会長 青木 大  
委員 堀田 一彦      須藤 正樹

- ・シスター委員会と協力し、35周年事業に絡め、姉妹クラブとの家族交流ができる様な設営する。
- ・親睦委員会と協力し、納涼例会やXmas例会に多くの家族が参加できるような設営をする。